

千葉市内で発見された化学弾の無害化処理等についての
住民説明会（第7回）質疑応答概要

1. 開催日時 平成24年2月25日（土）10:00~11:30
2. 開催場所 千葉市蘇我勤労市民プラザ
3. 参加者
（千葉市住民等）26名
（千葉市の事案に関する現地連絡協議会）環境省、千葉県、千葉市、四街道市

4. 概 要

環境省から配布資料に基づいてパワーポイントによる説明を行い（40分程度）、その後、質疑応答（50分程度）が行われました。質疑応答の概要は以下のとおりです。

今般の無害化処理に係る砲弾が発見された地域周辺について、まだ、砲弾が残存している可能性があり、もう少し徹底した調査を行ってほしいという住民感情について、どう考えているか。

環境省では、もし、終戦直後から土地改変が行われていないような所で、今後、土地改変を行う予定があり、ご心配な地権者の方がおられる場合には、環境省毒ガス情報センターまでご相談いただきたいと呼びかけており、このような取組を行うことによって地域の皆様方の御理解・御安心をいただきたいと考えています。

なぜ、無害化処理のヒ素のモニタリングを近隣住民が生活する場所の近くで行わないのか。またモニタリングには、本当にその結果が正確なのかどうかという点で、第三者の立ち会いが必要ではないか。

無害化処理の総ヒ素のモニタリングに関しましては、無害化処理施設の排気筒においてヒ素が検出されなければ、近隣住民の方が生活する場所まで影響は及ばないという考えに基づいて実施いたしました。

また、モニタリング結果が正確かどうかということに関しましては、公定法に基づいて実施し、その内容を環境省としても確認し、公表していることをもって透明性を確保しているということで御理解をいただきたいと考えております。

今後、新たに化学弾の無害化処理を行う必要が生じたとしても、今回、無害化処理を行ったという実績をもって、同じ県有地を二度と使用させないことを、千葉県には確約してほしい。

千葉県としては、化学弾が発見された場合、その都度、処理の方法あるいは処理の場所について、関係行政機関の間で検討することになるものと考えています。

化学弾を無害化処理しても、ヒ素の毒性が無くなるわけではない。そのような毒性を持つヒ素の処分を産業廃棄物処理業者に任せるということは、どういうことなのかと思う。

ヒ素は確かに毒性を有する物質ですが、ヒ素を含む廃棄物については処理技術が存在し、当該技術をもって、廃棄物処理法に基づく処理を適正に行うということが、最も適切な方法であり、有害な物質の管理の方法であることを、御理解いただきたいと考えております。

事後的に排気筒からヒ素が検出されなくてよかったとか、無害化処理の実施期間中に地震が起こらなくてよかったとか、今まで何も起こらなくてよかったとしか言えない施設は、今後、二度と造らないでほしい。何かあった際に被害をうけるのは、行政側ではなく、私たち住民側である。

環境省としては、無害化処理の実施に当たり、今まで何も無くてよかった、というような安易な気持ちで取り組んでいるのではなく、様々な事態を想定して、住民の皆様にご迷惑をかけることがないように、全力で細心の注意を払って取り組んでいるところです。

1月19日の確認試験や、1月31日以降、無害化処理を行っている期間中は、毎日、職員が現場に常駐し、無害化処理の状況を確認しているところであり、万一の際でも、環境省の職員が責任を持って対応できる体制で取り組んでおります。

今回の無害化処理事業で排出されるヒ素を含む廃棄物の受け入れ先を公開してほしい。

今回の事業で排出されるヒ素を含む廃棄物がどこで受け入れられたかという場所を明らかにすることは、風評被害の防止等の観点から、難しいと考えておりますが、いずれにしても法令に基づく処理が適正に完了したことは、我々としても責任をもって確認したいと考えております。

これまでの説明会の議事概要は環境省のホームページに掲載しているというが、ホームページが見られない方のためや、再質問もできるように、議事録を作成して、説明資料に添付してほしい。

私どもとしては、説明会という場を、連続の会議では無く、その都度、改めて皆様方のご質問にお答えする場と位置づけてきましたので、前回の議事録を説明資料に添付することはしてまいりませんでした。

千葉県、千葉市におかれては、今後の化学弾の対応についてどのように進めていく考えなのか。

千葉県としては、化学弾の処理については、地域全体の安心・安全のために必要な事業と考えており、今後、同様の事案が起こった場合には、現地連絡協議会を組織して国に対して協力しながら、地域の安全の確保を図ることが重要と考えています。

ただし、このような事案について、その場その場で対応することはなかなか問題も多いことから、国に対しては、恒久的な処理施設の整備等についても、これまでどおり、お願いしてまいりたいと思います。

千葉市としては、農場周辺の地下水調査を、市独自で実施してきておりますが、これまで問題があるデータは観測されておらず、また、今後の対応に関しましても、千葉県と同様に、関係行政機関と連携して、市民の安心・安全が図られるよう取り組んで参りたいと考えています。

以上の他に、無害化処理施設は処理の終了後に取り壊して撤去するというが、戦争の負の遺産のために莫大な税金が投入されていることを受け止めてもらいたい、残りの19発の処理は本当に事故の無いように行ってほしい、といったご意見がありました。

(以上)